# Boost.Geometryに学ぶ テンプレートライブラリの設計

高橋 晶(Akira Takahashi)

id:faith and brave

@cpp akira

Boost.勉強会 #6 札幌 2011/11/05(土)



### 自己紹介

- ・ 株式会社ロングゲート 取締役
- C++標準化委員会エキスパートメンバ
- Boost Geometry Libraryコントリビュータ
- boostjpコミュニティマネージャ
- 著書『C++テンプレートテクニック』
- ・『プログラミングの魔導書』編集長



### この発表について

- 今回の発表では、
  - Boost.Geometryがどのような使い方ができ、
  - どのような設計になっているのかを知り、
  - こういったライブラリをどうすれば作れるのかを見ていきます。



### 話すこと

- 1. Boost Geometry Libraryとは
- 2. ジェネリックプログラミング
- 3. Concept-based Design



## Chapter 01 Boost Geometry Libraryとは

What's Boost.Geometry?



#### **Boost Geometry Library**

- Boost Geometry Libraryは、計算幾何のためのライブラリ
- 作者:Barend Gehrels
- Boost 1.47.0でリリースされた。

### 特徴1. ジェネリック 1/3

Boost.Geometryのアルゴリズムは、 複数のモデルに対して動作する。

```
const linestring a = assign::list_of<point>(0, 2)(2, 2); const linestring b = assign::list_of<point>(1, 0)(1, 4); // 2つの線が交わっているか const bool result = geometry::intersects(a, b); BOOST_ASSERT(result);
```

### 特徴1. ジェネリック 2/3

Boost.Geometryのアルゴリズムは、 複数のモデルに対して動作する。

```
polygon a, b;
geometry::exterior_ring(a) =
    assign::list_of<point>(0, 0)(3, 3)(0, 3)(0, 0);

geometry::exterior_ring(b) =
    assign::list_of<point>(1.5, 1.5)(4.5, 4.5)(1.5, 4.5)(1.5, 1.5);

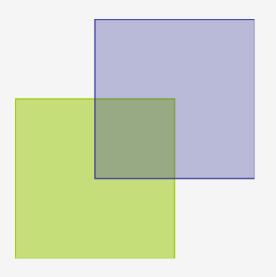
// 2つのポリゴンが交わっているか
const bool result = geometry::intersects(a, b);
BOOST_ASSERT(result);
```

### 特徴1. ジェネリック 3/3

Boost.Geometryのアルゴリズムは、 複数のモデルに対して動作する。

```
const box a(point(0, 0), point(3, 3));
const box b(point(1.5, 1.5), point(4.5, 4.5));

// 2つの四角形が交わっているか
const bool result = geometry::intersects(a, b);
BOOST_ASSERT(result);
```



### 特徴2. アダプト機構 1/2

Boost.Geometryの各モデルは、ユーザー定義型に適用できるため、Boost.Geometryのアルゴリズムを他のライブラリの型に対して使用することができる。

```
struct Point {
  int x, y;
 Point(): x(0), y(0) {}
  Point(int x, int y) : x(x), y(y) {}
};
struct Rect {
  int left, top, right, bottom;
  Rect() : left(0), top(0), right(0), bottom(0) {}
  Rect(int left, int top, int right, int bottom)
    : left(left), top(top), right(right), bottom(bottom) {}
};
```

### 特徴2. アダプト機構 2/2

Boost.Geometryの各モデルは、ユーザー定義型に適用できるため、Boost.Geometryのアルゴリズムを他のライブラリの型に対して使用することができる。

```
BOOST_GEOMETRY_REGISTER_POINT_2D(Point, int, cs::cartesian, x, y);
BOOST_GEOMETRY_REGISTER_BOX_2D_4VALUES(Rect, Point, left, top, right,
bottom);
const Point p(1, 1);
const Rect box(0, 0, 2, 2);
// 点が四角形の内側にあるか
const bool result = geometry::within(p, box);
BOOST_ASSERT(result);
```



### Boost.Geometryの設計

- Boost.Geometryの設計は、
  - 1. あらゆるモデルに対して同じアルゴリズムを適用でき、
  - 2. 他のライブラリのモデルに対してBoost.Geometryのアルゴリズムを 適用できる。
- この発表では、このような設計のライブラリをどうやって作るのかを見ていく。



## Chapter 02 ジェネリックプログラミング

**Generic Programming** 



### ジェネリックプログラミングとは

- データ型に依存しないプログラミング手法。
- C++では、テンプレートという、パラメタライズドタイプの機能によって実現する。
- オブジェクト指向的なライブラリは、継承関係にあるデータを扱うが、テンプレートによって設計されたライブラリは、継承関係に依存せずにあらゆるデータを扱う設計が可能となる。

## ost データ型に依存しないアルゴリズム

以下のmin関数は、operator<が使用できるあらゆる型で振る舞う関数

```
template <class T>
T min(T a, T b)
{
  return a < b ? a : b;
}</pre>
```

```
int x = min(1, 2); // Tはintに置き換えられる
double d = min(1.0, 2.0); // Tはdoubleに置き換えられる
char c = min('1', '1'); // Tはcharに置き換えられる
```

### あらゆるデータ型を保持できるコンテナ 1/2

#### 以下のListクラスは、あらゆるデータ型を保持できるコンテナ

```
template <class T>
class List {
 T* data ;
  size t size;
public:
  void add(const T& x)
    T^* tmp = new T[size_ + 1];
    for (size_t i = 0; i < size_; ++i) { tmp[i] = data_[i]; }
    delete[] data ;
    data_ = tmp;
    data_[size_{++}] = x;
  T& operator[](size_t i) { return data_[i]; }
  size_t size() const { return size_; }
};
```

### あらゆるデータ型を保持できるコンテナ 2/2

#### 以下のListクラスは、あらゆるデータ型を保持できるコンテナ

```
List<int> ls;
ls.add(3);
ls.add(1);
ls.add(4);

for (size_t i = 0; i < ls.size(); ++i) {
  cout << ls[i] << endl;
}</pre>
```

```
List<string> ls;
ls.add("abc");
ls.add("hello");
ls.add("goodbye");

for (size_t i = 0; i < ls.size(); ++i) {
  cout << ls[i] << endl;
}</pre>
```

#### STL

- Alexander Stepanovが設計したSTLは、テンプレートによって、 データ構造とアルゴリズムの分離を行った。
- これによって、アルゴリズムはあらゆるデータ構造に対して 振る舞うことが可能になったため、アルゴリズムは誰か一人 が書けばよくなった。

## Boost ジェネリックプログラミングのポイント

- データ型が異なる以外は同じコードになるのであれば、それはジェネリック(汎用的)にできる。
- 型によって最適化を行いたい場合は特殊化することができる。
- ジェネリックプログラミングによるコードの汎用化は、ユーザーコード量を限りなく減らすことができる。



## Chapter 03 コンセプトに基づく設計

Concept-based Design



- Boost.Geometryには、Point, LineString, Polygon, Boxなどの「コンセプト」と呼ばれる分類が存在する。
- これらコンセプトは、class point; のような具体的な型ではなく、 「Pointと見なせるあらゆる型」を意味する。
- Boost.GeometryはPointコンセプトを満たす型として boost::geometry::model::d2::point\_xy<T>という2次元の点を表す型を提供している。
- Boost.Geometryでは、point\_xyという型だけでなく、 その他のユーザーが定義した型を、Pointコンセプトの型としても扱うことができる。



これらのPointコンセプトを満たす型は継承関係にある必要はないし、インタフェースも異なるが、同じように扱うことができる。

```
polygon<point_xy<double>> poly;
double result = area(poly);

polygon<std::pair<double, double>> poly;
double result = area(poly);

polygon<UserDefinedPointType> poly;
double result = area(poly);
```



これらのPointコンセプトを満たす型は継承関係にある必要はないし、インタフェースも異なるが、同じように扱うことができる。

```
polygon<point_xy<double>> poly;
double result = area(poly);

polygon<std::pair<double, double>> poly;
double result = area(poly);

polygon<UserDefinedPointType> poly;
double result = area(poly);
```

```
template <class T>
struct point_xy {
    T values[2];
};
```



これらのPointコンセプトを満たす型は継承関係にある必要はないし、インタフェースも異なるが、同じように扱うことができる。

```
polygon<point_xy<double>> poly;
double result = area(poly);
```

```
polygon<std::pair<double, double>> poly;
double result = area(poly);
```

```
polygon<UserDefinedPointType> poly;
double result = area(poly);
```



```
template <class T1, class T2>
struct pair {
    T1 first;
    T2 second;
};
```



これらのPointコンセプトを満たす型は継承関係にある必要はないし、インタフェースも異なるが、同じように扱うことができる。

```
polygon<point_xy<double>> poly;
double result = area(poly);

polygon<std::pair<double, double>> poly;
double result = area(poly);
```

```
polygon<UserDefinedPointType> poly;
double result = area(poly);
```



struct UserDefinedPointType {
 ????

...



これらのPointコンセプトを満たす型は継承関係にある必要はないし、インタフェースも異なるが、同じように扱うことができる。

```
polygon<point_xy<double>> poly;
double result = area(poly);

polygon<std::pair<double, double>> poly;
double result = area(poly);

polygon<UserDefinedPointType> poly;
double result = area(poly);
Point Concept
```

こういった設計はどうやったら実現できるのかを紹介する

### Pointコンセプトの作り方 1/5

通常、点を表すクラスは以下のように定義することになる:

```
template <class T>
struct point {
   T x, y;
};
```

### Pointコンセプトの作り方 2/5

コンセプトベースなライブラリの場合は、以下のようにアダプト 可能なインタフェースとして定義する:

```
template <class T>
struct point_traits {
  typedef typename T::value_type value_type;
  static value_type get_x(const T& p) { return p.x; }
  static value_type get_y(const T& p) { return p.y; }
  static T construct(value_type x_, value_type y_)
    { return T(x_, y_); }
  static T substract(const T& a, const T& b)
    { return construct(a.x - b.x, a.y - b.y); }
};
```



### Pointコンセプトの作り方 3/5

Pointを操作するアルゴリズムは、点のクラスを直接操作せず、 traitsを通して行う。

```
template <class Point>
double distance(const Point& a, const Point& b)
{
  const Point d = a - b;
  return std::sqrt(d.x * d.x + d.y * d.y);
}
```





### Pointコンセプトの作り方 4/5

ユーザー定義の点を表す型をPointコンセプトを満たすようにアダプトする:

```
struct my_point {
 double data[2];
template <>
struct point_traits<my_point> {
  typedef double value_type;
  static value_type get_x(const my_point& p) { return p.data[0]; }
  static value_type get_y(const my_point& p) { return p.data[1]; }
  static my_point construct(double x, double y)
    { my_point p = \{x, y\}; return p; }
  static my_point substract(const my_point& a, const my_point& b)
    { return constrcut(a[0] - b[0], a[1] - b[1]); }
};
```

### Pointコンセプトの作り方 5/5

これで、distanceアルゴリズムは、point\_traitsでアダプトしたあらゆる型で振る舞うことができるようになる。

```
my_point p = { 0.0, 0.0 };
my_point q = { 3.0, 3.0 };
double d = distance(p, q); // 4.24
```

#### コンセプトベースライブラリを作る基本的な流れ:

- 1. 具体的な型を直接操作しない
- 2. アダプト可能なインタフェースを定義する
- 3. アルゴリズムでは、traitsを通して間接的に操作を行う
- 4. ユーザー定義型をtraitsにアダプトする



#### コンセプトでオーバーロードする 1/9

Boost.Geometryは複数のコンセプトをサポートしているので、 アルゴリズムはコンセプトごとに最適な実装を選択させる必要 がある。

#### 実現したいこと:

```
template <class Point, class Point>
double distance(Point, Point);

template <class Point, class LineString>
double distance(Point, LineString);

template <class LineString, class Point>
double distance(LineString, Point);
```

これを実現するには、「タグディスパッチ」という手法を用いる。

#### コンセプトでオーバーロードする 2/9

まず、PointコンセプトとLineStringコンセプト、それぞれのための タグを定義する。 タグは単なる空のクラス。

```
struct point_tag {};
struct line_string_tag {};
```

#### コンセプトでオーバーロードする 3/9

タグを返すメタ関数を用意する。 中身なし。

```
template <class T>
class get_tag;
```

### コンセプトでオーバーロードする 4/9

ユーザー定義の型をアダプトする際に、get\_tagを特殊化する。

```
template <>
struct get_tag<my_point> {
  typedef point_tag type;
};

template <>
struct get_tag<my_line> {
  typedef line_string_tag type;
};
```

#### コンセプトでオーバーロードする 5/9

アルゴリズムはあらゆる型を受け取れるようにし、型のタグを取得して専門特化した関数に転送する。

### コンセプトでオーバーロードする 6/9

#### 組み合わせごとのアルゴリズムを定義する

### コンセプトでオーバーロードする 7/9

#### 組み合わせごとのアルゴリズムを定義する

```
// 点と線
template <class Point, class LineString>
double distance(const Point& a, const LineString& b,
                point_tag, line_string_tag)
  typedef line_string_traits<LineString> traits;
  return std::min(
            distance(a, traits::get_start(b)),
            distance(a, traits::get_last(b))
// 線と点
template <class LineString, class Point>
double distance(const LineString& a, const Point& b,
                line_string_tag, point_tag)
{ return distance(b, a); }
```

### コンセプトでオーバーロードする 8/9

これで、PointとLineStringの組み合わせごとに最適な実装を切り替えることができるようになった。

```
// 点と点
my_point p = {0.0, 0.0};
my_point q = {3.0, 3.0};
double d = distance(p, q);
```

```
// 点と線
my_point p = {0.0, 0.0};
my_line l = {{2.0, 2.0}, {3.0, 3.0}};
double d = distance(p, l); // 逆もできる : distance(l, p);
```



### コンセプトでオーバーロードする 9/9

#### コンセプトでオーバーロードする流れ:

- 1. コンセプトを表すタグを定義する。タグは単なる空のクラス
- 2. 型を受け取ってタグを返すメタ関数を定義する
- 3. タグを返すメタ関数を、型ごとに特殊化する
- 4. 関数テンプレートのテンプレートパラメータを、 タグを返すメタ関数に渡し、結果の型を転送する
- 5. タグをパラメータにとるオーバーロードを用意する



## Concept-basedライブラリの例

Boost.Graph

抽象化が難しいと言われるグラフにおいて、データ構造とアルゴリズムをSTLの概念に基づいて分離したライブラリ。 特性別にグラフ構造を分類するのにコンセプトを採用している。

Boost.Fusion

タプルを異なる型のシーケンスと見なしイテレート可能にした ライブラリ。

Fusion Sequenceというコンセプトにアダプトされたあらゆる型を、Fusionのタプルと見なして数々のアルゴリズムを適用することができる。



## まとめ

- Boost.Geometryは、有用なアルゴリズムを提供するだけではなく、既存の他のライブラリと組み合わせて使用することを想定して設計されている。
   そういった設計には、コンセプトという考えを導入すると拡張性が高くなる。
- データとアルゴリズムを分離したことで誰か一人がアルゴリズムを書けばいいなら、みんなで知恵を絞ることで、そのライブラリを使用している全てのソフトウェアが改善されることを期待できる。
- 今回の話をふまえて、ぜひテンプレートライブラリを作ってみてください!



# Appendix アルゴリズムとモデル一覧

Algorithm and Model List



# アルゴリズム一覧 1/5

| 関数          | 説明                     | 図 |
|-------------|------------------------|---|
| area        | 面積を求める                 |   |
| centroid    | 図形の中心点を求める             |   |
| convex_hull | 凸包を求める                 |   |
| correct     | 図形の向きを修正し、終了<br>点を補完する |   |



## アルゴリズム一覧 2/5

| 関数         | 説明                  | <b>⊠</b> |
|------------|---------------------|----------|
| difference | 2つの図形の差異を求める        |          |
| disjoint   | 2つの図形が互いに素か判<br>定する |          |
| distance   | 2つの図形の距離を求める        |          |
| envelope   | 包絡線を求める             |          |
| equals     | 2つの図形が等しいか判定<br>する  |          |



## アルゴリズム一覧 3/5

| 関数                              | 説明                     | <b>X</b> |
|---------------------------------|------------------------|----------|
| expand                          | 他の図形でboxを拡張する          |          |
| for_each_point for_each_segment | 図形を走査する                |          |
| intersection                    | 2つの図形の共通部分を求める         |          |
| intersects                      | 2つの図形が交わっている<br>か判定する  |          |
| length<br>perimeter             | 図形の長さを求める              |          |
| overlaps                        | 2つの図形が重なっている<br>かを判定する |          |



# アルゴリズム一覧 4/5

| 関数        | 説明               | <b>⊠</b> |
|-----------|------------------|----------|
| reverse   | 図形を逆向きにする        |          |
| simplify  | 図形を簡略化する         |          |
| transform | 図形の単位変換などを行<br>う |          |
| union_    | 2つの図形の和を求める      |          |



# アルゴリズム一覧 5/5

| 関数     | 説明                        | 図 |
|--------|---------------------------|---|
| unique | 図形内の重複を削除する               |   |
| within | 図形がもう一方の図形の<br>内側にあるか判定する |   |



# モデル一覧

| モデル             | 説明          |
|-----------------|-------------|
| Point           | N次元の点       |
| LineString      | 複数の線分       |
| Polygon         | 三角形(メッシュ構造) |
| Box             | 四角形         |
| Ring            | 輪           |
| Segment         | 線分          |
| MultiPoint      | 複数の点        |
| MultiLineString | 複数の線        |
| MultiPolygon    | 複数の三角形      |